

第五部 内定者の国家公務員採用一般職試験 体験記

第五部では、

一般職の内定者 2 名による国家公務員一般職試験の勉強方法、いわゆる筆記試験の勉強・対策方法をお伝えします。「選択試験ではどの分野を選ぼう?」「この勉強方法ってどうやるの?」と気になる理工系の方、サンプル数は少ないですが、試験対策の参考にしていただければ幸いです。

※ 本紙に記載している試験方法や内容は、H28 年度国家公務員採用試験について述べたものであり、H29 年度以降の試験とは試験時期や英語試験の活用などの点で異なる可能性があります。また、勉強方法や選択問題のオススメ等については、あくまでも内定者個人の見解に過ぎず、もし事実と異なった場合でも責任はとりにかねますことをご了承ください。あくまでも、本紙は受験者様の参考程度としてご覧いただければ幸いです。

－ 国家公務員一般職試験の概要 －

【一次試験（教養+専門）】

全てマーク式の筆記試験です。教養試験では選択問題はなく、専門試験では複数の分野から4～6科目選択し、必要数の問題を回答します。この部分は総合職と形式としては同じになります。この試験と同日に記述式専門試験というものも行うので、長丁場の体力勝負はここから始まっているように思います。一次試験に合格後、人事院面接へと進みます。大体の問題集にも記載されていますが、一般職の場合、専門試験は学校の試験や入試が選択式になっているようなイメージです。

【記述式専門試験】

選択した専門分野と社会的な問題を織り交ぜて自分の意見を論ずる論述問題です。先述の通り、一次試験と同日に組み込まれていましたので、集中力を長く維持することこそが大事かと思います。

【人事院面接】

当日までに面接カードを記入して、基本的にその内容に沿って質問される個人面接です。面接時間はおおよそ10～20分程度で、面接官は3人（人事院の方と各省庁の現役の方らしいですが真相は不明）です。ここは総合職とあまり違いはないと思われます。

PN：ラビット (土木区分/大卒程度)

1. 勉強量について

(勉強開始時期、勉強法、勉強量等)

勉強は約 4 か月前から始めました。一般職の勉強というよりは、総合職を意識し勉強していました。基本は問題集を解き、試験が近くなってからは過去問に取り組みました。この 4 か月間は民間の就職活動以外の時間をなるべく勉強にまわしていました。

【専門と教養、論文のバランスは】

7 割専門、3 割教養という感じです。論文は一度過去問を解いた程度です。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

私は社会科目に自信がなかったため、勉強する範囲を絞りました。その代わりに、国語と理系科目の問題は全問正解を目指していました。(本番はミスしましたが...)

【専門試験(選択科目)】

私は大学の専攻とは異なる土木分野で受験しましたので、後半 20 問(土木の問題)に時間をかけました。前半の 20 問(工学の基礎)は総合職の過去問を解いて勉強していました。

【記述式専門試験】

一度だけ過去問に取り組みました。友人に見せ、良くない点を指摘してもらい修正しました。「土木技術者の観点から述べよ」という問題なので、災害対策などで使われている技術などを勉強しておくと思いいます。

【人事院面接】

基本は自分で書いた面接カードの通りに質問されました。記述したことに対し、工夫したことなどのエピソードを準備しておくと思いいます。

PN：カフェイン (化学区分/大卒程度)

1. 勉強量について

【勉強開始時期、勉強法、勉強量等】

勉強開始は5月頭から始めました。区分は、化学科出身ということで何の戦略もなく化学を選びました。総合職も化学区分で受けましたが、ボーダーが高すぎたので、よほど自信がなければ化学区分はおすすめしません。勉強法は参考書をただやるだけで特殊なことはしていません。勉強量は、1日平均5時間の勉強を5月あたまから6月末までの2ヶ月間したので、300時間ほどになります。

【専門と教養、論文のバランスは】

勉強にかけた教養・専門の時間比率は大体2:1です。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

公務員試験の参考書を用いて勉強をしました。知識分野では、理系科目は得意でしたので、文系科目と時事問題を重点的に学習しました。また、知能分野は、英語が苦手だったので文章理解にウェイトを置きました。試験の難易度自体は特に難しいということはありませんでした。

【専門試験（選択科目）】

技術系公務員試験の参考書および大学の教科書を用い、都庁や地方上級レベルを想定して勉強しました。試験難易度は教養試験同様特に難しいということはありませんでした。

【記述式専門試験】

論理がしっかりした文章を書ければよく、対策を必要と感じなかったため、特に対策はしていませんでした。論文試験の用紙はマス目のような線が申し訳程度に入っており、自分はそれを無視して書きましたが、特に減点されることはないようです。

【人事院面接】

面接カードそれぞれに書かれた項目ごとになにかしらのエピソードを意識していました。また、やりたいことや自己PRなどはあらかじめ固めて臨みました。それとハローワークやその他の公務員面接がよい練習になったので、積極的に活用していくべきだと思います。